

健康耳より情報

新型インフルエンザ（前編）

【はじめに】

新型インフルエンザの流行も少し落ち着き、私ども雄勝中央病院も例年どおりの外来風景となっているこの頃です。皆様のご家庭での新型インフルエンザ対策は如何だったのでしょうか。新型インフルエンザの流行は従来と異なり、事前に流行に対する警戒がなされていた、という事の特徴があります。そのため情報過多になり、マスコミに翻弄された面もあります。今回はこの新型インフルエンザの経験から感染症予防について述べてみたいと思います。

【流行状況】

新型インフルエンザの特徴をまとめてみますと、
1. 低年齢層に多く流行した。
2. 重症化したものは比較的少なかった。
3. 流行は急激ではなく、対処可能な程度に漸増した。
等があげられます。

これらの特徴について検討してみます。感染者の約7割は15歳以下の低年齢層にみられました。これは新型インフルエンザ・ウィルスが今までに流行していた型から派生したものと考えられるからでしょう。高齢者は新型インフルエンザ・ウィルスのもとでの型のウィルスに感染した既往があると考えられます。そのため

高齢者の多くは免疫力（抵抗力）を有していたと推定されます。

症状は軽症のものが大部分でした。もととなるウィルスの型が弱毒型なのが幸いしたと考えられます。マスコミ報道では重症例の報道のみだったので、皆様は大分恐怖心を持った事でしょう。あらためて報道は事実を伝え、必ずしも真実を伝えるものではない、と実感しました。ともあれ、当地域では死亡例などなくて良かったと思います。

関係各位の皆様のご活躍によって、大きな社会パニックはありませんでした。休校や学級閉鎖はありましたが、公的機関の閉鎖やライフラインの破綻等はありませんでした。一部の企業で家族の誰かが感染した時、非感染の社員の出勤を停止するという過剰の対応を行なった例もありました。これは広報や情報伝達の上で医療機関の説明不足に起因するものです。今後の課題の一つと認識しております。



雄勝中央病院
院長
中村 正明

5月号で後編

【感染対策】【今後の流行】等を掲載いたします。

J A 秋田厚生連 雄勝中央病院

〒012-0055
秋田県湯沢市山田
字勇ヶ岡25
TEL : 0183-73-5000
(代表)
FAX : 0183-73-3749
ホームページ：
<http://www.ogachi-hsp.jp>

夢を運ぶヘルパー

ゆめこ
ちゃん

ペンネーム
ゆめこちゃん

日記



いくつかになっても春は心躍る季節ですね。新しい出会い、新しい生活、なにかいい事が起きそうな予感に胸がふくらみます。

さて「福祉センター夢こまち」は、この春開設十周年を迎えます。当初は訪問介護事業と元気高齢者対象のデイサービス事業、配食サービス事業に取り組み、その後、福祉用具貸与事業・居宅介護支援事業・特定福祉用具販売事業・生活支援事業を順次展開してきました。事務職員を含めて十二名だったスタッフも、今では四十名近い人数を抱えるまでに成長しました。これまで大きな事故もなく順調に事業を継続できましたのは、利用者さんはじめ、ご家族様、地域の皆様に温かく見守っていただいたおかげと、心より感謝申し上げます。

これからも、地域のニーズに応じた新規サービスの取り組みを視野に入れながら、地域福祉に貢献できるよう、職員一同、努力していきたいと考えています。

（十と）一歳、気持ちを新たにがんばります！これからもよろしくお願致します！